

マグネシウムダイカスト研磨加工技術の 開発で新分野の受注先を開拓

課題

主力事業の研磨加工の 受注数量安定を目指して

洗浄・研磨・コーティングなど製品の表面処理加工を専門に行う有限会社ファーストコートサービスは、経営者が大手電子部品メーカーの工場プロセス技術や新製品の開発者として17年間勤務した技術やノウハウを活かして、平成14年に立ち上げた。

墓石クリーニングや自動車のボディコーティングなど個人客の注文請負からスタートし、加工技術力と作業工程の設計力を強みとして、徐々に企業からの工業製品や機械部品の加工も受注し、事業を拡大していった。現在、売り上げの65%を占めるのは、アルミ合金で鋳造された玄関ドア錠などの建築金具を研磨するアルミダイカスト研磨と呼ばれる加工である。また、同社は加工が難しく専門に行う企業が少ないテフロン加工において高い技術力をもつのも強みのひとつ。大手自動車メーカーの新型モデル車の生産設備の表面加工処理にテフロン加工技術が採用された実績もある。

問題は、需要に波があることだった。ここ数年間、主力の建物金具の研磨加工の受注数量の増減が激しく、生産計画を立てにくいことから、経営の安定化が課題となっていた。

支援

経営革新計画の策定で 一歩先を行く技術分野に参入

そんななか、平成27年、同社の研磨加工技術の高さに注目した新規取引先から新たな依頼が寄せられた。「極薄平面マグネシウムダイカストの研磨加工を任せたい」というもので、そのためには、より難易度の高い加工が必要となる。だが、この技術はノートパソコンやタブレットなどの製品にも使われ、今後ますますニーズが高まることが予想されており、挑戦する価値があると判断。さっそくマグネシウムの特性に合わせた研磨加工工程の設計、作業基準や方法の研究を開始した。発火性の高いマグネシウムダイカストを取り扱うには、防火対策として集塵機が必須だ。さらに効率化と量産化を進めるうえでは、パテを乾燥させるオープン乾燥機の導入も不可欠なため、同社は八幡平市商工会に相談をもちかけた。

商工会では、ものづくり補助金の活用を提案。第一段階として経営革新計画を策定にとりかかり、並行して専門家を派遣してチーム体制づくりや環境整備を行った。そして試行錯



研磨加工の作業風景

誤の末、平成28年に取引先の求める品質基準をクリア。同年11月に経営革新計画の承認を得るとともに、平成29年のものづくり補助金の採択を受けて、集塵機と乾燥オープンを導入。量産化に向けての環境整備を整えた。

新技術の導入に際しては高品質を追求し、作業者の動作観察、不良モードの解析、作業基準の徹底的な検証を実施。競合他社の良品率が70%台に留まるのに対して、同社は良品率95%を達成した。オープン乾燥機も、作業時間の大幅短縮を実現。生産性を10倍以上向上させる結果をもたらした。今後は新分野への提案などで業績の大幅な向上を狙う。

支援の経過

期間	支援内容
H27年3月	持続化補助金の申請支援
H28年11月	経営革新計画の認定支援
H29年2月	生産体制に係る専門家派遣支援
3月	ものづくり補助金の申請支援
9月	設備導入

会社概要

会社名：有限会社ファーストコートサービス
住所：岩手県八幡平市大更2-154-17
電話番号：0195-75-2371
URL：<http://www.f-coat.jp/>
代表者名：取締役社長 佐藤晃
創業年：平成14年
従業員数：11名
商工会名・担当者名：八幡平市商工会・佐々木悟